

川内南小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①「主体的・対話的で深く学び合う指導の充実」
- ②「望ましい学習習慣の確立」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 安倍 晃子	委員	吉田 雅美 竹内 麻理	井内 直加 今宮 健	佐藤 由美
	校長 菊本 佳孝			

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取り組み状況の把握について】

研究授業による臨床と授業研究会における報告・情報交換

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の書き取りや文章を読んで内容を正しくとらえる力はある程度育ち、分からない言葉はすぐに教科書・辞書等を活用しようとしている。算数の知識や技能についてもある程度の定着が見られる。 ●活用力が弱く文章中に漢字が使えなかったり、使い方が変わると書けなかったり、繰り返し学習しないと忘れやすくなる傾向がある。学習の習熟度に関きがあり、複雑な計算について途中であきらめてしまう児童がいる。	課題に根気強く取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。	①技能定着を目指す授業の中ではめあてを確認したり学習を振り返ったりする時間を確保する。 ②個に応じた指導の工夫をする。 ③タブレットを活用した学習の工夫をする。 ④朝の活動時間に学習の基礎となる経験を積ませるような内容の工夫をする。 ⑤家庭学習の徹底と日記指導の充実を図る。			

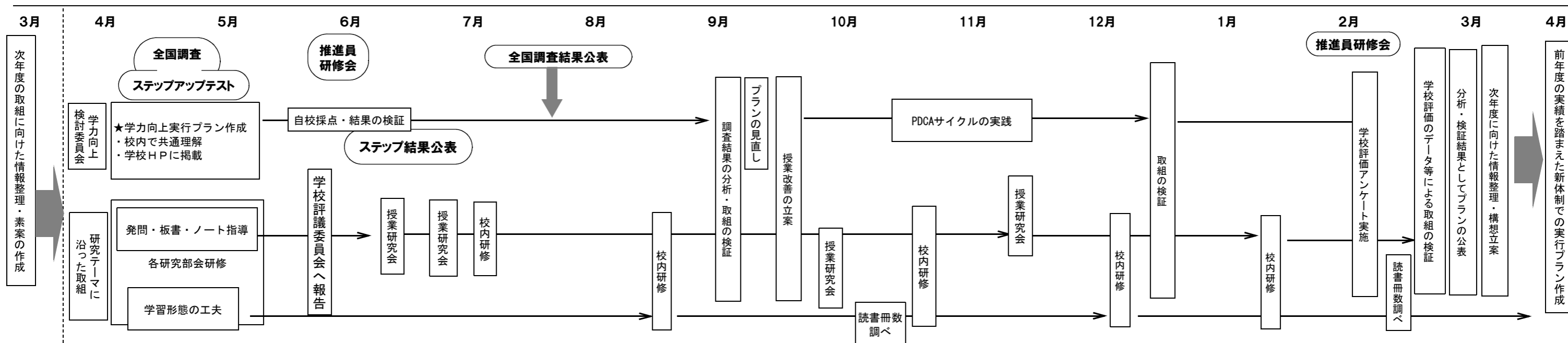
(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○目標が明確で、見通しの立つ課題はやり遂げようと努力する。 ●既習学習や経験をもとに考えたり、考えたことを言葉で説明したりする力に課題がある。	課題解決への見通しをもち、根拠をもとにして、自分の考えを分かりやすく話す・書く・友達の考えを聞くことができる。	①授業の中で、自分の考えをまとめて書く時間を設ける。 ②分かりやすく伝えようとする教材開発や場の設定の工夫を各教科や特別活動の時間を中心に行い、話し合い活動が自然に起こり、ペア・グループ学習の場が増えていくようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いた学習に取り組む、学習のきまりを守って学習する児童が多い。 ●自分から課題を見つけて取り組むことが苦手で、進んで学習する態度の定着に課題がある。家庭での読書時間が十分とれていない。	学ぶ意欲をもち、自ら課題を見つけて、主体的に学習に取り組むとともに、読書に親しむことができる。	①授業の中で児童に問題意識を持たせ、それに向けて学ぼうとする授業を展開する。 ②各学年・教科・指導内容に応じたノートのとり方を指導する。 ③学習規律や学年に応じた家庭学習の進め方を示し、自主学習への意欲の向上を図る。 ④読書冊数を保護者に知らせることにより、家庭での読書を推進する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ



1

1